

平成29年10月26日

神戸市魚崎財産区管理者
神戸市長 久元喜造 様

神戸市監査委員	谷	口	時	寛
同	吉	田	基	毅
同	壬	生		潤
同	平	井		真千子

決算審査意見の提出について

地方自治法第233条第2項の規定により、平成28年度魚崎財産区歳入歳出決算及び決算附属書類を審査し、次のとおりその意見を提出します。

目 次

第 1	審査の対象	-----	1
第 2	審査の方法	-----	1
第 3	審査の期間	-----	1
第 4	審査の結果	-----	1
1	概 況	-----	2
2	歳 入	-----	3
3	歳 出	-----	4
4	財産の状況	-----	6

凡 例

- 1 文中で用いる金額は万円単位で表示し，単位未満は切り捨てた。
- 2 各表中の比率は，百分率で表示し，小数点以下第2位を四捨五入している。
したがって合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 3 各表中の符号の用法は，次のとおりである。
 - 「 0 」 「 0.0 」 該当数値はあるが，単位未満のもの。
差引又は率の場合は零を含む。
 - 「 - 」 該当数値なし，算出不能又は無意味のもの。
 - 「 ほぼ皆増 」 増加率が 1,000% 以上のもの。
 - 「 ほぼ皆減 」 減少率が 1,000% 以上のもの。

平成28年度魚崎財産区決算審査意見

第1 審査の対象

平成28年度魚崎財産区歳入歳出決算及び決算附属書類

第2 審査の方法

歳入歳出決算及び決算附属書類が、法令に基づいて作成されているか、計数は正確であるか、会計処理及び財産の記録管理は適正かについて、東灘区総務部総務課及び区会計管理者が所管する証書類と照合するとともに責任者に対する質問等の方法により審査した。

第3 審査の期間

平成29年7月24日～10月24日

第4 審査の結果

平成28年度歳入歳出決算及び決算附属書類は法令に従い作成されており、その計数は正確であり、会計処理及び財産の記録管理は適正に行われているものと認められた。

なお、当年度の決算状況は、以下に述べるとおりである。

1 概 況

決算収支の状況をみると、第1表のとおりである。

第 1 表 決 算 収 支 の 状 況

(単位 金額：円，比率：%)

区 分	平 成 28 年 度			平 成 27 年 度		
	金 額	対前年度 増 減 額	対前年度 増 減 率	金 額	対前年度 増 減 額	対前年度 増 減 率
歳 入 (A = B + C)	91,882,130	△ 3,436,370	△ 3.6	95,318,500	△ 2,677,087	△ 2.7
当年度歳入 (B)	73,802,381	△ 13,776,633	△ 15.7	87,579,014	15,532,020	21.6
前年度繰越金 (C)	18,079,749	10,340,263	133.6	7,739,486	△ 18,209,107	△ 70.2
歳 出 (D)	73,781,678	△ 3,457,073	△ 4.5	77,238,751	△ 13,017,350	△ 14.4
歳入歳出差引額 (E = A - D)	18,100,452	20,703	0.1	18,079,749	10,340,263	133.6
翌年度へ繰り越すべき財源 (F)	-	-	-	-	-	-
実 質 収 支 (E - F)	18,100,452	20,703	0.1	18,079,749	10,340,263	133.6
単 年 度 収 支 (E - C)	20,703	△ 10,319,560	△ 99.8	10,340,263	28,549,370	156.8

歳入は9,188万円となっており、前年度に比べ343万円(3.6%)減少している。

歳出は7,378万円となっており、前年度に比べ345万円(4.5%)減少している。

この結果、歳入歳出差引残額は1,810万円となり、全額翌年度へ繰り越している。

また、前年度繰越金1,807万円を除いた単年度収支は2万円の黒字となっている。

2 歳 入

歳入の状況をみると、第2表のとおりである。

第 2 表 歳 入 の 状 況

(単位 金額：円，比率：%)

区 分	平 成 28 年 度			平 成 27 年 度		
	金 額	対前年度 増 減 額	対前年度 増 減 率	金 額	対前年度 増 減 額	対前年度 増 減 率
貸地料及び一時使用料	40,473,914	380,827	0.9	40,093,087	157,184	0.4
承 諾 料 等	3,503,000	△ 2,000,000	△ 36.3	5,503,000	3,465,000	170.0
会 館 使 用 料	5,041,550	△ 260,350	△ 4.9	5,301,900	287,225	5.7
補 助 金 受 入	65,000	0	0.0	65,000	0	0.0
預 金 及 び 基 金 利 子	21,101,000	△ 1,572,699	△ 6.9	22,673,699	△ 1,918,384	△ 7.8
繰 越 金	18,079,749	10,340,263	133.6	7,739,486	△ 18,209,107	△ 70.2
そ の 他	3,617,917	△ 10,324,411	△ 74.1	13,942,328	13,540,995	ほぼ皆増
合 計	91,882,130	△ 3,436,370	△ 3.6	95,318,500	△ 2,677,087	△ 2.7

注記：※収入未済額 平成28年度 83,070円．平成27年度 489,180円

以下、主な項目について述べる。

「貸地料及び一時使用料」は財産区有地、共有地に係るもので、4,047万円となっており、前年度に比べ38万円（0.9%）増加している。

「承諾料等」は土地の賃貸借契約に係る名義書換料、増改築承諾料及び賃貸借期間満了に伴う更新料で、350万円となっており、前年度に比べ200万円（36.3%）減少している。これは主として、承諾料の減による。

「会館使用料」は横屋・魚崎・魚崎西町の各会館及び魚崎わかばサロンの使用料で504万円となっており、前年度に比べ26万円（4.9%）減少している。これは主として、魚崎会館の葬儀の使用件数が減少したことによる。

「預金及び基金利子」は基金に係る利息で、2,110万円となっており、前年度に比べ157万円（6.9%）減少している。

「繰越金」は前年度の歳入歳出差引残額を繰り越したもので、1,807万円となっており、前年度に比べ1,034万円（133.6%）増加している。

「その他」は基金からの繰入金及び諸収入金の雑入で、361万円となっており、前年度に比べ1,032万円（74.1%）減少している。これは主として、基金からの繰入金が減少したことによる。

3 歳 出

歳出の状況をみると、第3表のとおりである。

第 3 表 歳 出 の 状 況

(単位 金額：円，比率：%)

区 分	平 成 28 年 度			平 成 27 年 度		
	金 額	対前年度 増 減 額	対前年度 増 減 率	金 額	対前年度 増 減 額	対前年度 増 減 率
議 会 費	3,948,130	△ 320,508	△ 7.5	4,268,638	744,782	21.1
会 館 費	35,880,315	△ 499,313	△ 1.4	36,379,628	△ 4,697,240	△ 11.4
土 地 管 理 費	1,403,298	1,403,298	皆増	-	△ 1,022,760	皆減
建 物 管 理 費	242,033	216,062	831.9	25,971	△ 3,198,962	△ 99.2
事 務 費	6,741,309	△ 932,697	△ 12.2	7,674,006	105,317	1.4
尚 齒 会 費	12,932,610	194,280	1.5	12,738,330	145,530	1.2
団 体 福 祉 費	11,963,983	412,641	3.6	11,551,342	△ 9,024,853	△ 43.9
基 金 造 成 費	-	-	-	-	-	-
雑 支 出	670,000	0	0.0	670,000	0	0.0
議 員 選 挙 費	-	△ 3,930,836	皆減	3,930,836	3,930,836	皆増
合 計	73,781,678	△ 3,457,073	△ 4.5	77,238,751	△ 13,017,350	△ 14.4

以下、主な項目について述べる。

「議会費」は議会運営費，議員報酬等で，394万円となっており，前年度に比べ32万円（7.5%）減少している。これは，主として運営費の減による。

「会館費」は各会館等の指定管理料等で，3,588万円となっており，前年度に比べ49万円（1.4%）減少している。これは主として，会館等の小修繕費の減による。

なお，指定管理料は3,373万円であるが，この内訳は人件費2,058万円（常勤統括管理責任者1名及び各施設担当者計6名の体制）と，維持管理費1,104万円（光熱水費，消耗品，定期清掃，機械警備，設備点検等）と，修繕費191万円と備品購入費18万円である。

「土地管理費」は区有地の保全に要する経費等で，140万円となっており，前年度から皆増となっている。これは主として，貸地料鑑定評価業務委託料の増による。

「建物管理費」は会館の維持管理費等で，24万円となっており，前年度に比べ21万円（831.9%）増加している。これは主として，魚崎・魚崎西町各会館の特殊建築物等定期報告に係る費用の増による。

「事務費」は財産区事務職員の報酬，賃金及び需用費等で，674万円となっており，前年度に比べ93万円（12.2%）減少している。これは主として，財産区事務職員に係る経費の

減による。

「尚齒会費」は敬老の日に財産区内の数え歳70歳以上の高齢者に記念品を贈呈するための経費で、1,293万円となっており、前年度に比べ19万円(1.5%)増加している。これは主として、対象者数が増加したことによる。

「団体福祉費」は財産区住民の福祉向上を図ることを目的として魚崎財産区団体等助成要綱に定められた団体に対する助成金で、1,196万円となっており、前年度に比べ41万円(3.6%)増加している。

「雑支出」は寄付金等で、67万円となっており、前年度と同額である。これは主として、神戸まつり等への寄付金である。

「議員選挙費」は、財産区議会議員選挙が実施されなかったため、前年度から皆減となっている。

4 財産の状況

財産の状況をみると、第4表のとおりである。

第 4 表 主 な 財 産 の 状 況

1. 土地及び建物

(単位 面積：㎡，比率：%)

区 分		平成 28 年度 末			平成 27 年度 末			
		面 積	対前年度 増 減	対前年度 増 減 率	面 積	対前年度 増 減	対前年度 増 減 率	
土 地	区 有 地	23,694.42	0.00	0.0	23,694.42	0.00	0.0	
	共 有 地	818,143.56 のうち持分 2/4	409,071.79	0.00	0.0	409,071.79	0.00	0.0
		4,880.00の うち持分2/7	1,394.29	0.00	0.0	1,394.29	0.00	0.0
		2,847.42 のうち持分 9,316/100,000	265.27	0.00	0.0	265.27	0.00	0.0
	計	434,425.77	0.00	0.0	434,425.77	0.00	0.0	
建 物		2,324.89	0.00	0.0	2,324.89	0.00	0.0	

「土地」は財産区有地及び共有地で、「建物」は各会館等である。

2. 基金

(単位 金額：千円，比率：%)

区 分		平成 28 年度 末			平成 27 年度 末		
		金 額	対前年度 増 減 額	対前年度 増 減 率	金 額	対前年度 増 減 額	対前年度 増 減 率
基 金		1,703,119	△ 3,499	△ 0.2	1,706,618	△ 13,896	△ 0.8

「基金」は17億311万円であり、前年度に比べ0.2%減となっている。